

盛岡の城趾を下る乙女達

おとめ

桜追う声 夕暮れに待つ

令和三年四月二十日

大中臣正比呂



先を歩いた私は、盛岡城趾公園の石段を登った。

そこで貴女を待っていたのだけれど、部活を終えた女子高生が

葉桜になりかけの公園を賑やかに抜けて行きましたよ。